**ハンドマイク街頭演説原稿例　　　９条改憲・野党共闘・政党助成金**

二〇二一年一一月二十四日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、総選挙のあと、憲法９条改定への大変危険な新局面がうまれています。まず、岸田首相自身が憲法改正に前のめりの発言を繰り返し、自民党は「憲法改正推進本部」を「憲法改正実現本部」に名称変更するなど党の体制強化を図っています。こうした動きと同時に、自民党は、「敵基地攻撃能力の保有」の検討を始めるとともに、軍事費をＧＤＰ（国内総生産）比で２％にしていくなど大軍拡の動きを進めています。さらに、日本維新の会と国民民主党が「憲法改正議論の加速」で合意したことは、自民党の改憲の動きを応援・後押しするものであり、極めて重大です。維新の会は「来年の参議院選挙と同日で憲法改正の国民投票ををおこなうべき」と発言し、先頭にたって改憲をあおっていますが、総選挙における、どの世論調査をみても改憲、ましてや９条改憲を国民は望んでいません。改憲の理由とされる中国の覇権主義的な行動には、国際法に基づく冷静な外交的な批判で包囲していくことが大事だと共産党は考えています。軍事に軍事で構える悪循環は東アジアの平和と安定にとっても重大な危険をつくりだします。憲法９条を変え、自衛隊が米軍と一体に海外で戦争できる国づくりを決して許すわけにはいきません。「９条改憲を許すな」の一点で、草の根の運動を大きく広げ、９条改憲の動きを何としても阻止する決意です。みなさんのお力添えを何卒よろしくお願いします。

みなさん、先の総選挙の結果をみて、マスメディアのなかで「野党共闘は失敗」などの報道がおこなわれています。しかし、今回、政権交代をめざして野党４党が共闘したことは、確かな成果があったと考えています。埼玉県内でも、野党共闘の候補が勝利した選挙区は２つから３つに増えました。埼玉１０区のように小選挙区では接戦のすえ敗れたものの、比例で復活当選した選挙区もあります。埼玉８区もあと一歩でした。野党が本気で力を合わせれば政権与党を少数に追い込むことはできると確信します。国民の声を聞かない自民・公明の政治がいつまでも続いていいはずがありません。日本の政治を変える道は、共闘しかない。日本共産党は、今後も誠実に市民と野党の共闘の発展に力を尽くしてがんばります。来る参議院選挙は、定数４の埼玉選挙区で、必ず梅村さえこ元衆院議員を当選させるため全力をあげます。引き続きのご支援をよろしくお願いします。

みなさん、いま問題となっている文書通信交通滞在費（文通費）ですが、日本共産党は、３０年前から予算に一貫して反対し、毎年の議院運営委員会などで文通費の抜本的見直しを求めてきました。維新の会は「身を切る改革」と言うならば、年間３２０億円にものぼる政党助成金の受け取りこそやめるべきではないでしょうか。日本共産党は、文通費の抜本的見直しとともに、最大の無駄遣いである政党助成金を廃止するため引き続き力を尽くします。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

最後に、日本共産党へのご支援を重ねてお願いするとともに、スクープ連発で注目をあつめる「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）